

日本のふるさと。自給自足的循環社会

広報 京丹波 3

NO.161 2019.3.15 発行 TOWN KYOTAMBA



ともに育む、安心ほっと暮らし



表紙写真の関連記事15ページに掲載

- 16 くるみの会のお手軽レシピ
- 12 まちの話
- 10 いきいき健康術
- 08 行政インフォメーション
- 07 行政インフォメーション
- 06 京丹波を映像の里に
- 02 丹波くりの魅力を再発見

丹波くりの魅力再発見



丹波くりの歴史

丹波くりはその名が全国に通じるブランドとして、市場で高く評価されています。品質の良い「本物」が求められる現代ですが、丹波くりの生産量は減少の一途をたどっており、増産に向けた取り組みが求められています。

今回は丹波くりの現状や栽培の魅力と増産に向けて奮闘する生産者の声やまちが取り組む事業を紹介します。

丹波くりは、千二百年以上の歴史があり、古くは古事記や万葉集、日本書紀にその名が登場するほどです。献上物として都に運ばれたり、江戸時代には年貢米の替わりとしても上納されたりしていた歴史を持ちます。丹波地方の栽培に適した気候風土や度重なる改良により、実も大きくなり現在の丹波くりとなりました。

生産量が全盛期の1/8

丹波くりは、全国にその名をとどろかせ、品質は高く評価されています。しかし、生産者の高齢化やくくり樹の老木化などにより、生産量は全盛期の293トン（昭和53年）から35トン（平成29年）と約八分の一まで落ち込んでいます。

生産拡大を目指して

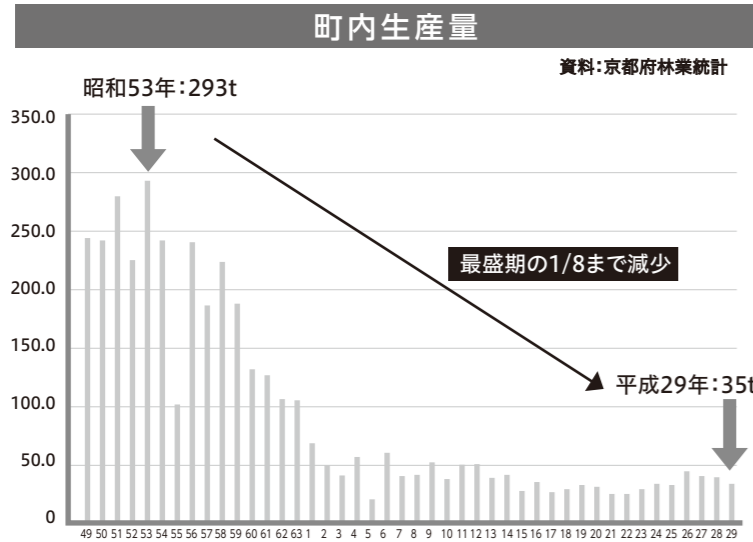
丹波くりの生産振興を図り、生産者の経営改善や生産意欲、技術の向上を目的に、京丹波町「丹波くり」生産振興協議会を平成27年4月に立ち上げました。

また、本会は生産農家をはじめ、くり振興を掲げる京都府や京都農業協同組合の職員を構成員にすることで、それぞれが取り組む活動に相乗効果を見込んでいます。

大きな可能性を秘めた作物

丹波くりは、収益性が高く、所得率が60%を越えます。また、少ない作業時間で栽培ができるためサラリーマンの方でも早朝や夕方、休日を利用しての栽培が可能です。（図1）女性や年配の方でも木の高さを低く保つことで作業が比較的楽にできるようになります。

栽培に必要な主なものは、選果用の作業場、刈払機、農薬散布機、獣害が予想される場合は獣害防止施設で、特別な施設や大型機械は必要ありません。栽培に係る経費を抑えられるのも特徴です。

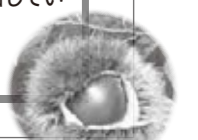
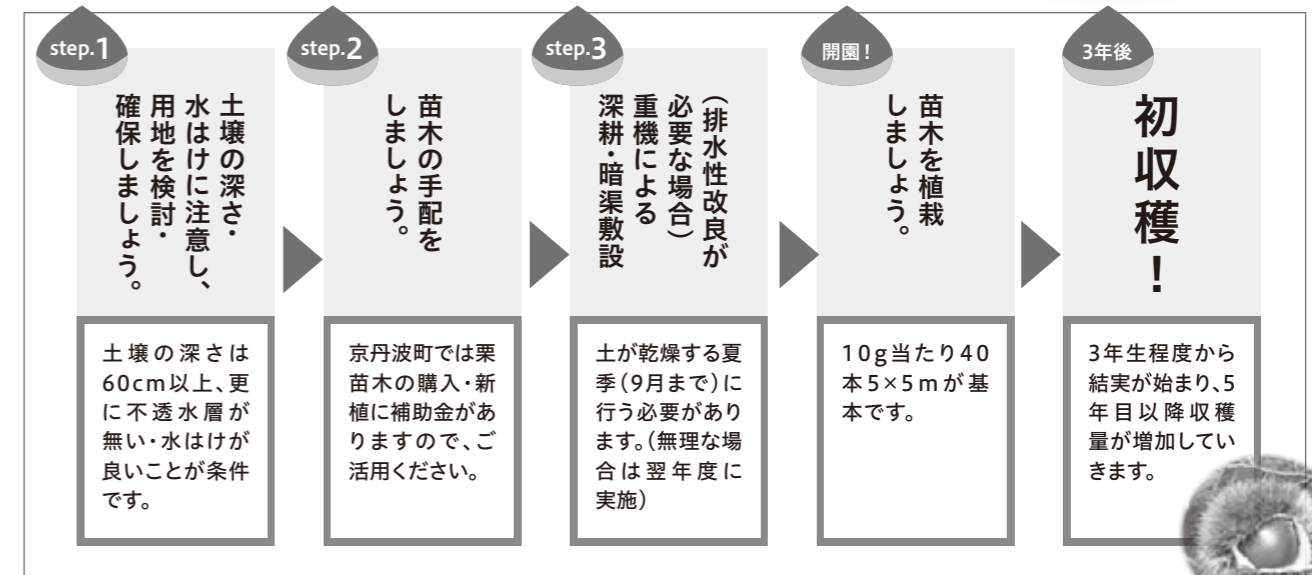


【図1】くり栽培の1年サイクルと主な作業内容・必要時間

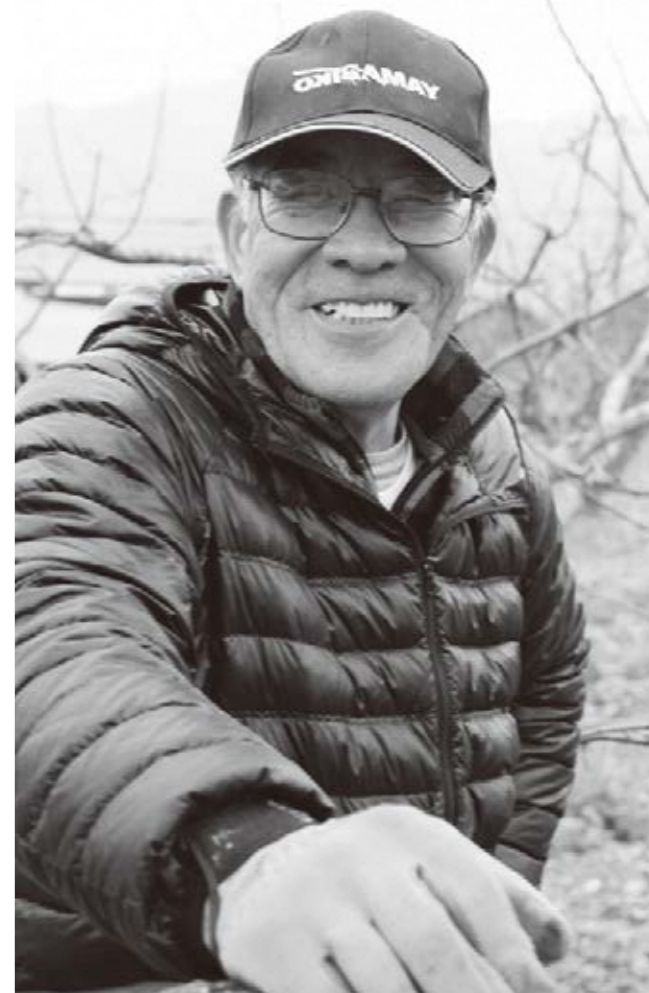
春 (4~5月)	夏 (6~8月)	秋 (9~10月)	冬 (11月~3月)
<p>葉が芽吹き、展開していく時期です。併せて、キクイムシなどの害虫が活発になる時期でもあります。</p> <p>草刈 (4~5回)</p> <p>見回り病害虫防除</p> <p>8時間程度</p>	<p>6月に開花・受粉し、7月以降、実がどんどん大きくなります。重大な被害を及ぼすカミキリムシが木の幹に産卵・ふ化する時期ですので注意が必要です。</p> <p>14時間程度</p>	<p>待ちに待った収穫時期です。早生品種は9月初旬から実が落ち始め、中生品種は9月末~10月初旬、晩生品種は10月末まで収穫が続きます。</p> <p>収穫・選果</p> <p>30時間程度</p>	<p>葉は落葉し、木は休眠時期に入りますが、剪定作業や施肥など、来年の収穫に向け、重要な作業を行う時期です。</p> <p>整枝・剪定</p> <p>10時間程度</p> <p>施肥 (2~3回)</p> <p>2時間程度</p>
<p>合計64時間程度</p>			

(資料: 京都府南丹波広域振興局)

◆開園・初収穫までの流れ



丹波くり生産者に、INTERVIEW



3 (スリー) 運動の実践

山内 善継さん(市場)

山内さんは、退職後に丹波くりの栽培に取り組まれ22年。現在、約100アールを栽培され日々、丹波くりの栽培の普及啓発に取り組みられています。

山内さんが提唱する「3(スリー)運動」は、③0アール栽培、10アール当たり収量③00キロ以上、③Lサイズの生産で収量を1トンにして、収入を100万円にすること。

以前くりは、急斜面や山すそで栽培されていましたが、果樹園の

ようなくりの栽培がしたいと思い、

水田を転換して京都府で初めてとなる平地でのくり栽培に挑戦されました。「時代が変われば、技術も変わる。平地での作業は安定感があり、なんといっても草刈がしやすくなった」と山内さん。しかし、排水の改良ができていないと「凍害には注意が必要」と平地栽培の危険性を話されました。

長年丹波くりを栽培してきた山内さんは、「全国のくりの栽培面積がここ10年で半分になった。後継

ブランドを守り 次世代へ

梅原 眞さん(小畑)

祖父の代から傾斜地や山すそ(約40アール)で丹波くりの栽培をされてきました。当時は剪定などの技術がなく、野生に近い状態で放置されていました。その状態が以前から気になっており、退職後本格的に丹波くりの栽培に取り組まれました。

傾斜地での栽培で獣害(サル)に悩まされていたことから、京丹波町「丹波くり」生産振興協議会

が立ち上がった4年前に補助金を活用して、約20アールの水田を整備。有害鳥獣対策の電柵も設置して平地栽培に挑戦されました。丹波くりの栽培について、「剪定作業が一番大事」と真剣な面持ちで作業にいそしむ梅原さん。植栽から4年、収量が増えはじめるころ「今年の秋の収穫が楽しみです」と笑みがこぼれます。

丹波くりの生産拡大に向けて、



者不足も要因としてあるが、獣害による被害が一番大きな問題である」と心配されています。丹波くりも例外ではありません。しかし、「消費者がブランド志向になってきているので、産地を生かしたもののづくりはこれから十分通用していく。くりは和菓子や洋菓子などにも活用でき、需要がある。まち全体で生産を増やすことで地域振興の大きな力となるはず」と丹波くりに大きな可能性を見出しています。

「生産者の高齢化が進むなか、ブランドとしての名を絶やさないよう、次の世代に目を向けてもらえるようみんなで考えていきたい」と話され、「丹波くりは全国で根強い人気があるので、それに見合う量の生産を京丹波町全域でされるよう力を注いでいきたい」と今後も生産拡大に向けて取り組まれます。

まちの補助金情報

本町ではくりを植栽するために苗木を購入した経費や苗木を購入して、整地、排水対策、有害鳥獣防止柵設置をした経費の一部について補助を実施しています。

苗木購入補助・・・補助率 10分の5以内

くり園新植改植補助・・・補助率 3分の1以内。
ただし、補助金の額50万円を上限

いずれも、補助要件があります。詳しくは下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】
農林振興課 TEL. 0771-82-3808

「元号の改正に便乗した詐欺」に注意を!



こんな事例がありました

全国銀行協会から封筒が届いた。中の書類には「5月1日の改元による銀行法改正に伴い、全金融機関のキャッシュカードを不正利用防止用に変更することになりました」とあり、同封の「キャッシュカード変更申込書」に口座番号、暗証番号を記入し、使用中のカードと一緒に返信用封筒で2日以内に返送するよう書かれている。信用してもよいか。



アドバイス

今年に入り、全国銀行協会をかたって、このような書類を高齢者に送り、キャッシュカードをだまし取ろうとする新たな特殊詐欺の手口が確認されています。

『一般社団法人全国銀行協会』は実在する組織で、書類を信用してしまいがちですが、**返送先のお客様センター**や**集荷センター**は銀行協会と無関係な東京都内のビルであることが確認されています。



一人で悩まず、気軽に相談してください。

『消費生活相談窓口』 京丹波町では、消費生活に関する相談や情報提供をお受けしています。

消費生活に関する連絡・相談先 ※メールでの相談はお受けしていません。

京丹波町消費生活相談窓口
電話：0771-82-3803
相談日：水・木曜日

南丹市商工観光課内
電話：0771-68-0100
相談日：月・火・金曜日

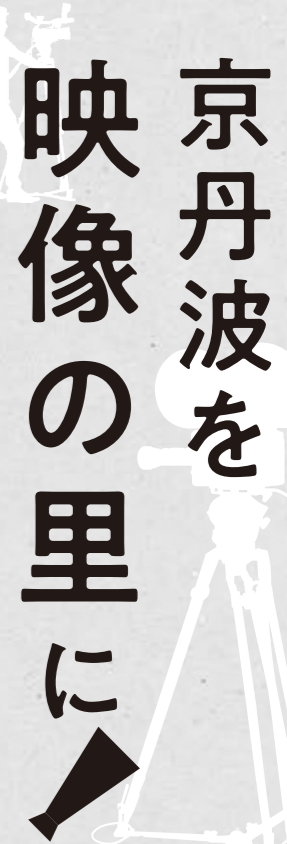
南丹市の相談窓口も利用していただけます。

役所や医療機関など、公的機関をかたった電話や書類が届く手口も増えています。「自分だけは大丈夫」との自信が真偽の判断を鈍らせてしまいます。「2日以内の返送をお願いします」との一文も対応を急がせ、判断を鈍らせてしまいます。**いつも「詐欺かもしれない」と立ち止まることが必要です。**

時世に便乗した詐欺は過去にも多発しており、今後も「改元」を口実にした詐欺は増えると思われます。また、今年10月に消費税率が改定されます。「改元」や「消費税」などに関する書類や電話があれば一人でも対応せず、家族や身の回りの人に相談しましょう。

ロケ地誘致 高まる人気

まちの風景や建物などを映画やテレビ番組などの撮影場所として提供し、観光客誘致につながるロケ地誘致事業。推進の核となる「京丹波町ロケーションオフィス」は平成29年6月に発足し、昨年5月、新たに事務所を開設しました。撮影や取材の総合窓口となり、これまでに映画「パンク侍、斬られて候」(綾野剛主演)やドラマ「遺留捜査SP」、バラエティー番組など17件のロケを誘致してきました。



本町で撮影された「あの日のオルガン」が公開中

昨年3月に本町の旧質美保育所や旧須知小学校、須知高校、高屋川の河川敷(富田)など町内各所で撮影が行われた映画「あの日のオルガン」が、2月22日(金)MOVIX京都ほかで全国公開されています。公開に先駆けて2月4日、丸の内ピカデリー1(東京都)で完成披露試写会が行われ、本町から太田町長が出席し、主演の戸田恵梨香さんと大原櫻子さん、脚本も手がけた平松恵美子監督や花東や京丹波町産の木材を加工した皿などを手渡しました。



▲「あの日のオルガン」撮影箇所 高屋川の河川敷(富田)



▲「あの日のオルガン」撮影箇所 旧質美保育所

ぜひお越しください。



ロケ地となった「旧質美保育所」を開放します。ご覧になりたい方は、質美笑楽講「絵本ちゃん」090-2705-8622まで連絡してください。



本作は、女優戸田恵梨香、大原櫻子のダブル主演で、太平洋戦争末期、子どもたちの命を守るために日本で初めて保育園を疎開させることに挑んだ保母たちの実話を基にした人間ドラマ。親元から遠く離れ、託された命を守りぬこうとするヒロインたちの奮闘を描いた物語。

映画「あの日のオルガン」
2月22日(金)新宿ピカデリーほか全国公開

京丹波町の組織の一部を改編します。

京丹波町のさらなる発展を推進するため、4月1日から町の組織の一部を改編します。
今回は、人口減少対策に総合的に取り組む「にぎわい創生課」の設置をはじめ、子育て支援の充実や新庁舎の建設、認定こども園の開設を見据えた体制など、助け合いと活力ある「健康の里づくり」の体制づくりに向けた改編を行います。



人口減少対策に総合的に取り組む「にぎわい創生課」を新設

「にぎわい創生課」を新設し、移住や定住の支援対策を推進する「移住定住促進係」を設けるなど、次のとおり改めます。

にぎわい創生課

- 「商工観光係」を設け、「商工観光係」、「企業立地推進係」を設置。
- 「地域振興係」、「移住定住促進係」、「交通対策係」を設置。

子育て環境の充実を推進する「こども未来課」を新設

「こども未来課」を新設し、子育て支援業務を総合的に実施するとともに、認定こども園の整備や開設に係る業務を推進していくため、次のとおり改めます。

こども未来課

- 「こども園整備室」、「子育て支援係」を設置。

その他の改編

新設 企画財政課

- 「企画広報係」、「財政係」、「財産管理係」を設置。

農林振興課

- 「地域資源活用推進係」を新たに設置。

総務課

- 「契約検査係」を新たに設置。
- 危機管理室が「交通安全に関する業務」を担当。

保健福祉課

- 「健康推進室」を新たに設け、「健康推進係」を設置。
- 「社会福祉係」、「高齢福祉係」、「地域保健福祉係」を新たに設置。

教育委員会

- 「文化スポーツ係」を新たに設置。

また、主幹を課長級に位置付け、組織の機能強化を図ります。

「生涯学習通信TOMORROW」を広報紙に掲載します

現在、町教育委員会が毎月発行している、「生涯学習通信 TOMORROW」を平成31年4月号から本紙に掲載することになりました。

TOMORROWでは、町教育委員会からのさまざまな催しのお知らせや出来事、図書室の紹介など幅広く情報を発信しています。

4月号からは、本紙に「TOMORROW」コーナーを作成し、掲載していく予定です。町民の皆さまに今まで以上に町内の情報や出来事を伝えていけるよう、創意工夫をして取り組んでいきます。今後とも愛読していただける広報紙を目指していきますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。



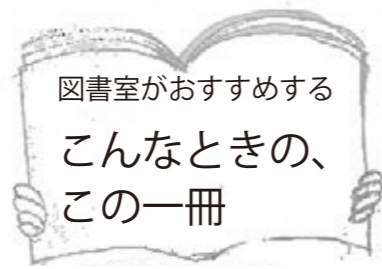
「こんにちは赤ちゃん」
コーナー
申し込み募集

〈対象者〉

町内在住で、申し込み時に生後1歳未満のお子さま〈申込方法〉お子さまの顔写真に申込書を添えて、役場または支所まで、持参・郵送・メールのいずれかで届けてください。申込書は役場本庁、支所、瑞穂保健福祉センターにあります。

【問】

京丹波町企画政策課
電話 0771-82-3801
Eメール
kikaku30@town.kyotamba.lg.jp



『さよなら、田中さん』

鈴木 るりか・著 / 小学館



この小説は、主人公の田中花実さんと元気で明るいお母さんの話です。

毎日楽しく日常を過ごす様子がおもしろおかしく、ときには涙を誘う短編エピソードが全5編収録されています。

そして驚かされるのが、この小説の作者はなんと現在、中学生です。エピソードの1つには小学生のときに作者が執筆したものが改稿され収録されています。とても中学生が書いたとは思えないほどの才能あふれる文章を、皆さんもぜひ一度読んでみてください。

(梅田公民館図書室 よねくら たいこ 米倉 妙子)

図書室のご案内

開室日	開室日	日	月	火	水	木	金	土
中央公民館図書室 電話 0771-82-0988				9時～17時 ※午前11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時
桧山公民館(山村開発センター)図書室 電話 0771-88-0506		14時～17時			14時～17時	14時～17時	14時～17時	第2、第4土 13時～17時
梅田公民館(旧梅田保育所)図書室				第1、第3火 9時～13時				第1、第3土 9時～13時
三ノ宮公民館(三ノ宮基幹集落センター)図書室				第2、第4火 13時～17時				第2、第4土 13時～17時
質美公民館(質美振興センター)図書室				第2、第4火 13時30分～17時30分				第2、第4土 13時～17時
和知公民館(和知ふれあいセンター)図書室 電話 0771-84-2081				9時～17時 ※午前11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時

貸出期間 2週間 貸出冊数 1人1回5冊まで

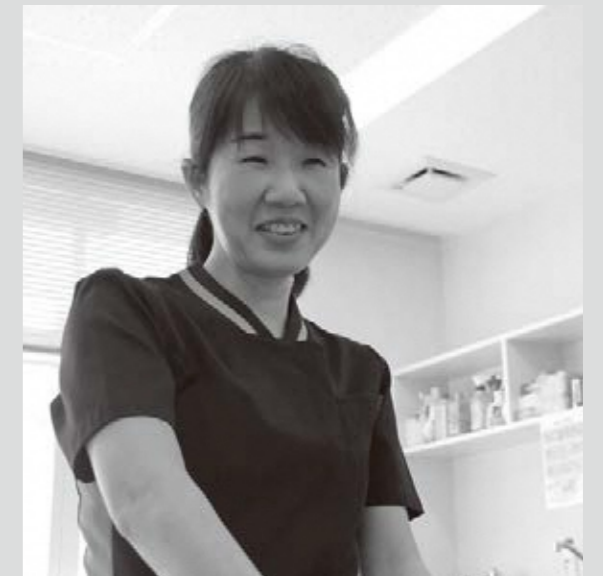


いきいき健康術 第139回

町立病院・診療所の医師や専門職員が健康情報をお届けします。

『正しくマスクをつけていますか?』

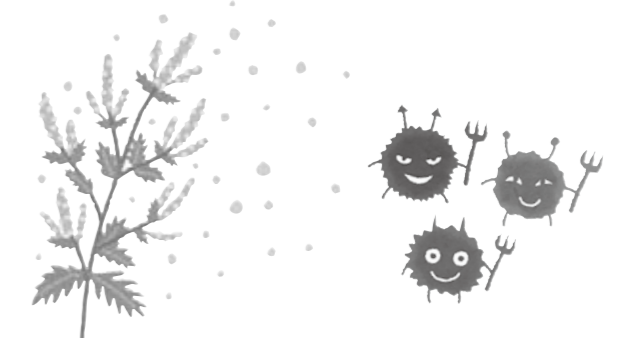
はやし まき 看護師長 和知診療所



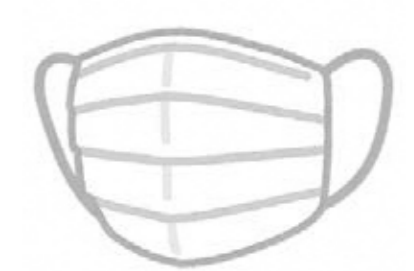
年末からインフルエンザが大流行し、春には花粉や黄砂、近年問題となっているPM2.5など感染予防などのために多くの人がマスクを着用しています。

ある企業の調査では7割以上の方が正しくマスクを着用できていないとの結果も出ています。感染予防の意識が高くても間違った使い方では意味がありません。正しく着用するための5つのポイントを紹介いたします。

- 1 マスクの上下表裏の向きを確認しましょう。ノーズフィットが埋め込まれている方が上で、表裏は種類によって違いますので注意が必要です。
- 2 マスクの上側を2つ折りにして中心を決めます。
- 3 フィルターを広げ中心部分が鼻にあたるように装着します。
- 4 あごの下までしっかりマスクに入れ、鼻の部分を指で押さえて肌を密着させます。
- 5 両手でそっとマスクを覆い、口で呼吸して鼻の横から空気が漏れていなければ正しく装着できています。



大事なことは肌にしっかり密着させ隙間を作らないことです。



また、使用した後、正しく外すことも重要です。外すときは、フィルター部分にウイルスや花粉などが付着している危険があるので、ゴムバンドのみを持ち、フィルター部分は触らないように注意してください。また、1日1回は交換することをお勧めします。

色々な機能を持ったマスクがたくさん市販されていますので、自分に合ったマスクを探してみてください。

ホッケーを通じて楽しく交流

●本町出身のホッケー日本代表候補と交流
本町出身のホッケー女子日本代表候補選手3人による教室が1月19日、グリーンランドみずほで行なわれ、小学生から社会人まで約80人が参加しました。

教室では、「ソニーHC」（愛知県）に所属する一谷麻実さん、一谷奈歩さん、山下留依さんの指導でドリブルやシュートなどの練習のほか、参加者全員を6チームに分けて試合形式のゲームを行いました。

ゲームでは、3人の指導者もチームに入り、参加者と一緒にホッケーを楽しみました。



子どもたちと楽しく交流する一谷麻実選手(右)



参加者の前でドリブルの見本を見せる一谷奈歩選手(右)

地元企業を知る

●高校生キャリアアップ講座

町内の企業を知り、次代を担う高校生たちの地域定着を促進するキャリアアップ講座が2月13日、須知高校で行われました。京丹波町産業ネットワークの取り組みの環で、同ネットワーク加入企業と須知高校との連携事業として行われ、就職志望者の2年生10人が参加しました。講座では、講師に石井食品株式会社



フリップを持って高校生にアドバイスする松岡さん

社京丹波工場の西野誠さんと太陽工業株式会社瑞穂工場の松岡健一さんを招き、会社の概要や事業の紹介、社会人として必要な能力や知識について話しました。

また、自身の経験と実践から高生者の今やっておくべきこととして、「グループワークを沢山経験してください」、「目上の人と話す機会をつくってください」とコミュニケーションをとることの大切さを伝えました。

他者と出会い自分を再発見

●国際交流30周年記念イベント

本町の姉妹都市オーストラリア・ホークスベリー市との交流が30周年を迎え、2月2日に須知高校で記念イベントが行われました。町国際交流協会と須知高校が共催で開催し、約70人が参加しました。

イベントは、アフリカのマリ共和国出身で昨年4月に京都精華大学の学長に就任されたウスビ・サコさんの講演会や、みらいフォーラムと題して、太田町長とウスビ・サコさんと一緒に自分や本町の未来について

て思いを交流する来場者参加型のトークイベントのほか、ドイツ出身で京都府国際課の嘱託職員のマヤ・ホールさんによるワークショップが行われました。

講演会でウスビ・サコさんは、グローバル時代に必要な生き方について、「本音で語り合うことが大切」と話し、「自国の文化と向き合うことで真のグローバル人材は育つ。その上で、相手との違いを認め合い、歩み寄る気持ちが大切。他者と出会うことで自分を再発見できる」と話しました。



グローバル時代の生き方について講演するウスビ・サコさん

議会の活性化に向けて

●福知山公立大学と連携

福知山公立大学と連携して町議会の活性化を考える講演会が2月5日、役場議場で講師に同大学の富野暉一郎副学長を招いて行われました。

講師の富野さんは、ベンチャービジネスの社長を務めた後、1984〜92年に神奈川県逗子市長を務めるなど、さまざまな分野で経験を積まれてきました。講演では、議会は「民主主義に不可欠な機関」

と話し、「地方議会こそ地域民主主義の重要な機関である」と地方議会の重要性や求められる議員力について話され、参加した全議員16人は高い関心を持って耳を傾けていました。

篠塚信太郎議長は「政策などの提案が減っており、議会の力が弱まってきているように感じる。今日を契機に議会の活性化に向けて連携を深めていき、地域の発展に尽くしていきたい」と話しました。



地方議会の課題について述べる富野副学長

地元の調理師から学ぶ

●地域とコラボした調理実習

地元の調理師から魚のさばき方を教わる調理実習が1月29日、和知中学校で行なわれ、1年生15人が学びました。講師に「季節料理ふるさと」の木下雅博さんと木下悠吾さんのほか、食生活改善推進委員2人を招き、あじのムニエル、骨せんべいなど4品を調理しました。実習では、木下さんがあじを3枚におろす見本を見せた後、生徒たちは講師に教えてもらいながら、慣れない手つきであじを3枚におろしていました。

あじの三枚おろしに挑戦した川邊勝哉さん(篠原)は、「むずかしかったけど、今日学んだことを家の手伝いで生かしていきたい」と話しました。



木下さんに教えてもらいながらあじをさばく生徒



小学校内を見学する参加者(丹波ひかり小)

知って 住みたい 京丹波

●移住向けの学校説明会

本町に興味や関心のある移住者向けの学校説明会が2月9日、丹波ひかり小学校で開催されました。

説明会は、地域と行政、教育機関で構成する「京丹波町ふるさと学校連絡協議会」の主催で行われ、学校施設の紹介だけでなく、子育て支援や空き家バンクなどのまちの支援制度の説明がされました。

また、本町に移住した方が「先生が熱心でやさしい」、「自然の中で子どもが育てられる」、「人との距離感が近く人が温かい」、「空気が野菜がおいしい」と京丹波町に移住して感じたことを参加者に伝えました。参加者は、「京丹波町は過疎化が進んでいる地域と思っていたが、温かい場所で盛り上がりつつあると感じた」と話しました。

「助け合いと活力のある健康の里づくり」を目指す

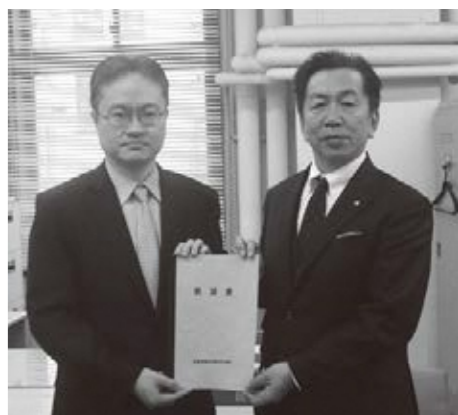
7月豪雨の災害支援などを要望

本町は行政の公正化、環境整備、暮らしの安心・安定、子育て支援、産業振興の5つを柱に、「助け合いと活力のある健康の里づくり」を推進しています。この実現に向けて2月13日、おたのぼろ太田昇町長が財務省に対して要望活動を行いました。

要望は、本町の基幹財源である普通交付税が縮減するなか、新庁舎建設や認定こども園の整備、7月豪雨の災害復旧に係る費用など

で本町の支出が著しく増加することから、特別交付税の増額を求めて行いました。また、老朽化した上水道の管路などの更新を進めるための財政支援のほか、京都縦貫自動車道の4車線化の早期着工、京丹波PAから府道松山須知線等一般道への出入りが可能となるスマートインターチェンジの整備、国道9号拡幅（4車線化）の延伸、JR山陰本線園部駅以北の複線化や交通系ICカードシステムの早期導入についても要望を行いました。

太田町長は、国の予算や決算、



前田主計官に要望書を渡す太田町長(右)

会計に関する制度の企画や立案などを行う財務省主計局の前田努主計官（総務・地方財政・財務担当）と岩佐理主計官（国土交通・公共事業総括担当）に対して要望書を手渡しました。

やってみないとわからない

生きる喜びを描く

本町出身のアフリカンペイントアーティストのSHOGENさんが2



生徒に挑戦することの大切さを伝えるSHOGENさん

月7日、母校である瑞穂中学校で講演会を開催しました。

SHOGENさんは、大学卒業後、大手化粧品会社に就職。京都のある雑貨屋で一枚の絵（※ティンガティンガ）と出会い、独特な構図と躍動感溢れる色彩表現に魅了され、自ら描くことを決意し、勤め先を退社。ティンガティンガ発祥の地のタンザニアに単身で赴き、現地人アーティストに弟子入りされました。「人々を幸せにする絵」という精神を基に、現在では全国各

地でワークショップや講演会を開くなど活躍されています。

講演会では、タンザニアでの生活で学んだ、人との向き合い方や生きていくことの大切さを話し、「どんなことでもやってみないとわからない」と挑戦することの大切さを生徒に伝えました。

※ティンガティンガ

1960年代にタンザニアのダルエスサラーム郊外で誕生した動物や植物の自然を描くアフリカンアート。名称は創設者のエドワードサイディティンガティンガに由来する。6色のペンキで描かれる。

継続した情報発信が防災意識を高める

西大学社会安全学部×町ケーブルテレビの連携した取り組み

町ケーブルテレビと連携し、町民の防災意識を高める番組などの共同制作を行っている関西大学社会安全学部の学生が2月19日、役場議場で平成30年度の取り組みを報告しました。

同大学は学生のアイデアで、防災番組の「安心ほっとライフ」や音声告知放送で防災の知識を伝える「防災ひとくちメモ」（質美地域で放送）、友好町双葉町の特産品を



プロジェクトの成果を発表する学生たち

生かして交流する「折り紙ダルマプロジェクト」など、メディアを通して町民の防災意識を高めるプロジェクトに取り組んでいます。継続した情報発信で防災意識の向上や防災活動の活性化に取り組み、平成28年度から府の「1まち1キャンパス」事業を活用しています。ケーブルテレビでおなじみの火の用心CMは昨年、通算100本、出演者のべり、000人を超えるなど多くの町民に参加していただいています。

報告会では、4回生の4人が取り組みを検証するため、質美地区全178世帯を対象にアンケート調査を実施した結果（回収率59.6%）を基に報告しました。

火の用心CMや「防災ひとくちメモ」を担当した尾山諒太さんは、「CMと音声告知放送の両方を視聴した方で関心が高まった人は前年の20%から80%と4倍に増加した」と複数のメディアを組み合わせたことにより、防災情報に触れる機会が増えて防災意識が高まり、行動につながったと分析しました。

また、今年度から新たに住民目線で防災に取り組む町民を紹介する番組「安心ほっとさん」を担当

した押井菜摘さんは「視聴者だけでなく、出演者にも防災について、新たな自覚の芽生えをもたらした」と報告しました。報告会に参加した大西好美さん（質美）は、「（質美は）災害が少ないところで防災に対して意識が低かったが、番組などの話を住民になげかけることで、地域に防災意識が芽生えた。地域が元気になった」と感謝を伝えました。

学生を指導する近藤誠司准教授は、「防災だけでなく教育や福祉、まちづくりにつながっている。心の交流があつてこそその連携。今までの積みあげを大切に、安心・安全の輪を広げていきたい」と次年度を展望しました。

活動の成果を報告

地域おこし協力隊活動報告会

本町の地域おこし協力隊の活動報告会が2月20日、中央公民館で行なわれました。

本町では、現在6人の隊員が活動しており、今年度で2人が活動を終え、残る4人は次年度も活動を続けます。

報告会では、隊員6人が地域おこし協力隊になった経緯や、これまでの活動を振り返り、今後の目標を語りました。

今年度で活動を終える勝田雅博さんは、瑞穂農業公社を経て、グリーンランドみずほで農林産物の販売などに携わっています。全国各地へ研修や視察に出向き、人脈を広げてきました。地元で集めた農産物を東京で定期的に販売し、固定した顧客を作り、販売ルートを確認しました。3年間で培った経験を生かして、地域の産品を仲介する地域商社を立ち上げる計画を話し、今後まちの活性化を図ります。また、関わった皆さんに感謝し、「本当の移住はこれからスタートする」と話しました。

活動を終えるもう一人の渡辺晋



活動を紹介する地域おこし協力隊

ご寄付のお礼

※敬称略

大相撲京都場所実行委員会
本部長 四方八洲男

5万円(理由:CATVの協力にお礼として)



ふるさと応援寄付金のお礼

※敬称略

片山 山治 10万円

*掲載内容は寄付者の了解を得ています

わたしたちの町

人口 14,162 (-38)
男 6,748 (-11)
女 7,414 (-27)
世帯数 6,295 (-18)
3月1日現在 / () は前月比

食生活改善推進員は「私たちの健康はわたしたちの手で」をスローガンに、食生活を通して健康づくりに取り組んでいます。(掲載月6・9・12・3月)



春キャベツのみるくポトフ

ミルク味で春キャベツの優しい甘さが引き立ちます。不足しがちな野菜がたっぷり摂れます！



1人分の 熱量 283kcal
栄養価 たんぱく質13.9g・脂質8.3g・カルシウム260mg・食物繊維8.4g・塩分2.1g

【材料(1人分)】

春キャベツ…200g
京かんざし(人参)…30g
じゃがいも(小)…60g
玉ねぎ…100g
大黒本しめじ…40g(1本)
丹波ポークウインナー…25g(1本)

スキムミルク…大さじ2

*みそ…小さじ1

*塩…ひとつまみ

水…500cc

パセリ(乾燥)…適量

※脂肪分がほとんどなく、牛乳に比べて低エネルギー、カルシウムやたんぱく質などを豊富に含んでいます。

こんなアレンジもできますよ!

*の替わりに

- コンソメで **コンソメ味**
- コンソメ、ケチャップで **ケチャップ味**
- カレー粉+昆布で **カレー味**

【作り方】

- 1 キャベツは芯ごと好みの大きさに切る。玉ねぎは大きめのくし型に切る。京かんざしは1本を斜め半分に切る。じゃがいもは皮をむき、切らずに水に浸けておく。
- 2 大黒本しめじは石づきを除く。ウインナーは切らずにそのまま使う。
- 3 鍋に①の野菜と②を形を崩さないように並べ入れ、分量の水を加えてアルミホイルなどでおとし蓋をして煮る。
- 4 沸騰したら弱火にして25分ほど煮込む。
- 5 分量のみそとスキムミルクを大さじ2杯の煮汁で溶いておく。
- 6 じゃがいもが柔らかくなれば⑤を流し入れ塩を加えて味を整える。
- 7 火を止めて約10分おき、味を含ませる。
- 8 形を崩さないように器に盛り付けパセリをふる。